

特別定額給付金を装った 詐欺に注意してください

消費者ホットライン
1188(嫌や!泣き寝入り)

お問い合わせ 消費生活センター(平日)午前9時~午後4時 ☎57-8143

絶対に教えない! 渡さない!

- 暗証番号
- 通帳
- 口座番号
- キャッシュカード
- マイナンバー



新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として給付される特別定額給付金(1人10万円)に便乗した特殊詐欺に関する相談が国民生活センターに寄せられています。

市の職員などが、市民の皆さまにATMの操作をお願いしたり、給付のために手数料の振り込みを求めることは絶対にありません。また、電話で通帳番号やキャッシュカードの暗証番号を尋ねることもありません。

不審な電話はすぐに切り、来訪者にも注意してください。

怪しいな?と思ったらすぐに消費生活センターや最寄りの警察に相談してください。

令和元年度
「佐渡を美しくする会」
標語コンクール
作品紹介

優良賞

佐渡の色 次来る日まで 色あせず

今だから 変えられる未来

いい木々を

「ふるさと再発見の旅」について

「ふるさと再発見の旅」は、「ふるさと佐渡を知る/佐渡観光に貢献する」を目的に平成18年に始まった団体旅行で、首都圏佐渡連合会郷土連絡委員会の観光部会が業務を行っています。昨年まで14回実施しました。現在は、島外在住者の佐渡アイランドサポーター制度「さどまる倶楽部」の特典を活かして運用中です。

毎年メインテーマを決め、現在参加者も合計763人にのぼり、毎年平均55人の大きな旅行団体として佐渡観光に貢献しています。団体構成員の多くは首都圏在住の佐渡出身者ですが、その友人や知人の方で島外出身者の方も増えています。

今年度はテーマを鉾山の町「相川」と北前船の里「宿根木」の街あるき!と題して、相川の京町通り、宿根木の町並み保存地区など、情緒溢れる街並みを専門のガイドさんの案内を受けながら散策を楽しむコースを予定しています。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集開始を見合わせているところですが、10月2日~4日の「第15回ふるさと再発見の旅」の実施を夢見ています。

(文責:首都圏佐渡連合会・観光部会長 北嶋 准)

首都圏情報コーナー



昨年の旅は久知八幡宮に行きました